

第1回 地域連携推進会議 議事録

日 時 : 令和7年10月28日(火) 13:30~16:00

場 所 : 京北やまぐにの郷 会議室

出席者 : 地域関係者1名 行政担当者1名 成年後見人1名

ご利用者2名

法人職員: 理事長 施設長

I. 構成員自己紹介

それぞれに自己紹介を行った。

利用者方も緊張した面持ちではあったが、入所歴含めて自己紹介された。

生活について委員から尋ねられると、不満はないが前から施設を出たいと思っているとの思いも聞かれた。

II. 地域連携推進会議の趣旨並びに京北やまぐにの郷概要説明

趣旨要約とパワーポイントにて説明。

ご家族の高齢化により成年後見が必要になっている事。不規則勤務に就くことができる女性支援員の永続的に確保が困難と判断し、数名の女性利用者が他施設へ移られ、現在は男性利用者のみで運営をしていること。高年齢化による医療支援が必要になっているが、施設近隣病院では入院加療ができない事等の課題も共有した。

III. 施設内見学

生活棟・活動棟を見学された後の感想ご意見で、以前よりずいぶんきれいになっていると話された。清潔を常とすることに注力しているので職員の意識の向上が顕在化していることを嬉しく感じた。

入浴について、土日がないことやシャワー浴となっていることへの理解はされたが、問答の中で再考の余地があると認識した。

洗濯について、利用者の参加についての言及があった。これについても再考の余地があると感じた。

IV. 令和7年度事業計画・新規事業計画説明

事業計画要約版と広報紙にて説明した。

利用者の高齢化を鑑み、健康維持増進や生活の彩りを増やす目的で日中活動の見直しを行って、ワクワクする生活に向けて活動の見直しを進めている事。新規事業にて、京北が明るく楽しい共生のまちになるよう願っている旨お伝えし、説明会の様子についてもお話しした。

V. 感想・ご意見

委員からは、グループホームの必要性について自身の誤解があったこと。地域移居の意義について理解を示していただき、今回の推進会議の趣旨が理解できた。

構成員として出席された利用者については、長丁場となり若干の疲れがあったと思われるが、記念撮影まで笑顔を絶やすことなく参加できたことは何よりと感じた。

地域の方々に入所支援サービスの実際を見ていただき、利用者の言葉を直に聞き取っていただく機会があることは非常に重要なものであることを再認することができた。